

3 小杉東

小杉町3丁目東地区再開発ニュース

発行：小杉町3丁目東地区市街地再開発準備組合 理事会

平成24年1月20日

新年を迎えて

新年 明けましておめでとうございます。

このたびの東日本大震災で被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

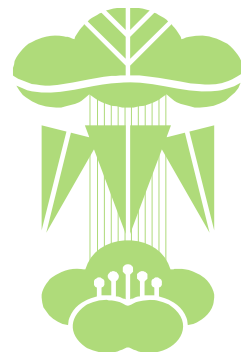
昨年、準備組合では、参加組合員予定者となる2社を選定しました。また施設計画についても具体的な検討が進み、いよいよ再開発事業進捗に向けて大きく動いた一年となりました。

今年は都市計画手続き・環境アセスメント手続きを予定しており、これまで以上に前進の一年となることが期待されます。

依然として厳しい社会経済情勢ではありますが、皆で協力し、知恵を出し合い、この小杉にふさわしいまちづくりの実現に向けて、確実な事業を行いたいと考えております。

本年も、皆さまのさらなるご協力をよろしくお願いいたします。

理事長 角川 榮喜



- 2012 -

参考事例視察会を行いました

平成23年12月8日、日本橋のまちづくりと商業施設（コレド日本橋他）の視察会を行いました。

日本橋界隈は武蔵小杉同様に再開発が進むエリアであること、またコレド日本橋は、小杉の参加組合員予定者である三井不動産レジデンシャル(株)と東急不動産(株)が共同して手掛けた事業であることから、小杉の類似参考例として視察先に選定しました。

当日は、日本橋三井二号館で視察内容の説明を受けた後、実際に街なみ見学となりました。

二号館ではまず初めに日本橋周辺のジオラマ（建物模型展示）を使いながら地区全体の開発状況の説明を受け、続いて「コレド日本橋」の開発経緯、小杉との類似点等の説明を受けました。

最後に、コンサルより視察ポイントのまとめがなされ、質疑応答をもって、視察会の第一部が終了となりました。



ジオラマスペース

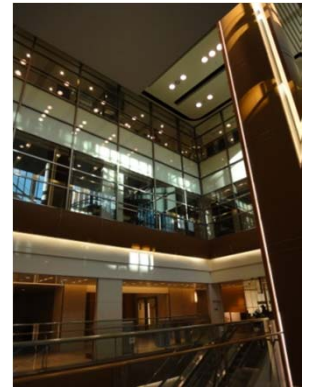


説明を受ける準備組合メンバー

視察

続いて、実際に日本橋の街並み及び参考施設の視察を行いました。当日はあいにくの雨となってしまいましたが、準備組合メンバーは「店舗レイアウトの考え方」「エントランスの配置」など、事前の説明と照らしながら、施設それぞれの特徴を順に確認していきました。

特に、「コレド日本橋」は敷地の規模および地下1階商業規模が、当地区の規模イメージと非常に近く、スケール感を実際に体感する良い参考事例となりました。



左上) コレド日本橋

右上)
コレド日本橋内観

左) 施設を視察する
準備組合メンバー

懇親会

視察会の最後には、3年ぶりとなる懇親会が開催され、総勢40名弱の参加者が親睦を深めました。また、会の後半には、参加組合員予定者、設計者、川崎市等、関係者それぞれから事業推進に向けた力強い挨拶が続きました。

関係者一同、力を合わせて事業推進に取り組むことを改めて確認し、2011年の締めにあつさわしい会となりました。



再開発への意気込みを語るご出席者

事業スケジュール案の修正

昨年末の個別面談でご説明致しました事業スケジュール案について、若干の修正がありましたのでご報告致します。

	新スケジュール	当初案
〈都市計画手続き〉 再開発計画素案提出	平成24年4月	平成23年12月
〈環境アセス手続き〉 任意説明会	平成24年5月	平成24年1月
都市計画決定・告示	平成25年3月	平成25年1月

※あくまでも現時点での予定です。

事務局よりお知らせ

昨年12月より新たに事務局員 鈴木英子 が加わり、芦高、日高との3名体制になりました。

事業への質問やご相談等ございましたら、どうぞお気軽にお声掛けください。